

報道各位

都市政策部都市計画課

街区単位の液状化対策検討に伴う ボーリング調査の完了について

本市では、能登半島地震により液状化被害が顕著に発生した地域において、将来の大地震発生時に備え、再度の液状化被害を軽減させることを目的とした、街区単位の液状化対策の検討を行っています。

令和6年12月より開始したボーリング調査につきまして、令和7年4月末で全27箇所の現場作業が完了しました。つきましては、ボーリングデータから確認できたことや、現在の作業状況及び今後の予定についてお知らせします。

本件について、広く市民等に周知するため、積極的な広報にご協力をお願いします。

1. ボーリング調査結果について

軟弱な砂層(N 値が10以下)が、全箇所で確認され、一部では、地盤沈下の恐れがある粘性土層などが確認されました。また、概ねの箇所で地表面から 50cm～1m程度、土を掘ると地下水が確認されました。

なお、地下水位については、季節変化に応じて変動することから、継続して観測を実施していきます。

2. 土質試験について

現在、ボーリング調査で採取した土試料を用いて、地盤の検証(解析)に必要な土の特性を調べています。

◇主な試験項目

透水試験、土の圧密試験 など

3. 地盤の検証(解析)について

土質試験結果を基に、液状化対策が適用できる地盤かどうかを検証するための解析を進めています。検証結果につきましては、まとめ次第、新潟市宅地等耐震化対応・対策検討会議(令和7年 7 月頃予定)に諮り、有識者等の意見を聞く予定としています。

■問合せ先

新潟市都市計画課

担当:寺島、石黒

電話:025-226-2679

追加地質調査 進捗状況 (ボーリング調査箇所 N=27箇所)

R7.4.30現在

